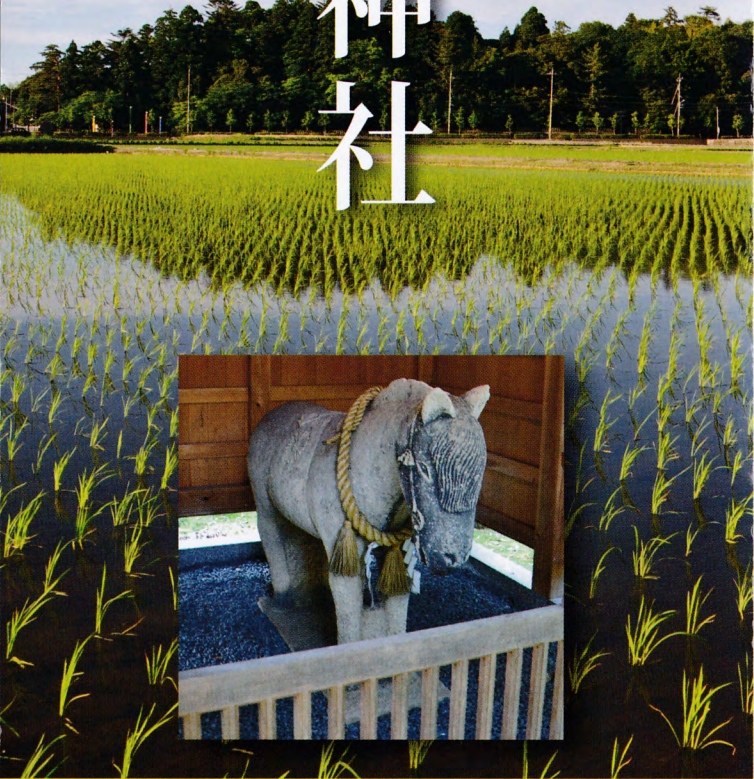


狭野神社

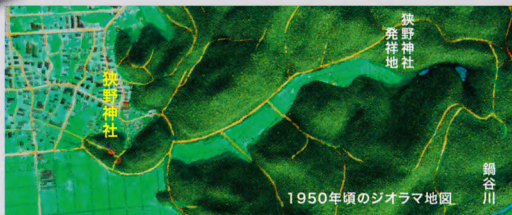


SANOJINJYA



狭野神社

式内社・県社



能美市佐野町

佐野町事務所：TEL 0761-57-1300
月～金(祝日はお休み) 9:00～12:00



2015-8-10000-SDA



狭野神社拝殿

神主の話

日本人は自然の恵みを感じ、自然の力を畏れながら時には自然を生きかじ、共に生きていく生活でした。大樹には魂はあり、祖先の魂と同じように崇め、その力強い魂を心と体にかけて生きる強さを願いました。大樹に触れ空を覆う樹下でその魂を感じ、その気に包まれ異の世界に入ること世俗の穢れを清め瑞々しい力を戴きました。

佐野の山々には最近まで桔梗など種々の草花が群れ咲き、カラタチバナの実が赤く色づく美しい里でした。そして氏神の祭りが永々と引き継がれてきました。しかし近年は神様とのかかわりも人とかかわりも疎んじ避ける人が見られます。煩わしさを全てを損得で考えるようになり、心寛容さを失い排他的な言葉で自己の権利に酔いしれるようになっています。多くの神々を崇め合うように権利は互いに尊重し合う中、いただけるのです。

いたわりの心を交わせあいできる人が多いほど真の幸せなのです。清々しい狭野の杜の気に触れて本来の「自分」をとりもどしましょう。

宮司 尾坂 正康

【狭野神社の由来】

御祭神
 素盞鳴尊命 すさのおのみこと
 大己貴神 おおなむちのかみ
 天照大神 あまてらすおおみかみ
 豊受比咩命 とようけひめのみこと

狭野神社は東の方角にあつた峠の山中で狭い谷間の原野の奥にあり、狭野の社と称えられ、佐野の地名の起こりと言われている。九〇七年に式内社となり、嘉祥三年に正六位上を賜わる。全国でも著名な古社としても知られる。

前田藩政のとき、利常公が格別に崇敬され、一六四四年(正保元年)春にご参拝、翌年の春の祭儀には自ら祭主となりとり行った。境内は二千坪あり、神田山・お守り山・雉の山がある。

鎌倉時代には義経二行は根上の松を経て、八丁川を上り、狭野神社に鉄扇を奉納、七つ滝を経て岩本神社に至るとの文が残っている。



狭野神社本殿祭壇



狭野神社正面



樹齢八百年の椎の大樹



石川県十名所指定



境内



秋季例大祭



社務所

【祭事】

一月一日	歳旦祭
一月中旬	左義長祭
二月十七日	祈年祭
五月一日	春季例大祭
六月三十日	夏越大祓
八月二十四日	月次祭
九月二十三・二十四日	秋季例大祭
十月十六日	神明祭
十一月二十三日	神嘗祭
十二月三十日	年末大祓
毎月一日	月始祭

【陶祖神社の由来】

佐野九谷陶祖神社は、一七九五年佐野村に生まれた陶祖 斎田道開が良質の陶土を発見し、佐野窯を創始した跡とされている。千二百年余の古い歴史を有する狭野神社の境内に鎮座する。



斎田道開の碑

